



ふれあい

令和3年度ごあいさつ

彩光苑 所長 田嶋 襄

平素は、当苑の事業運営に多大のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。新年度にあたりご挨拶申し上げます。

今年度は、昨年から発生した新型コロナウイルス感染防止対策に十分配慮しつつ、サービスの質の向上並びに事業の安定化を図り健全な運営に取り組んで参ります。また、今年度、3年に1度の介護報酬の改定の年にあたります。今回の改定は、全体平均で0.7%の引き上げとなりましたが、その内訳の大半は新型コロナ対策や通所・訪問介護の基本サービスの報酬となっています。施設系サービスでは、感染症や災害の発生に備えた業務継続計画（BCP）策定の義務付けやテクノロジーを活用した際の夜間の人員配置基準の緩和が盛り込まれました。

このような状況のもと当苑では、第Ⅳ期中期ビジョンの最終年度を迎えます。当期のテーマは、優良施設を担う人づくり及び社会貢献活動の推進でありますので、目標達成に向けて全職員一体となって取り組んで参ります。今年度の主な項目は下記のとおりであります。

1. 財務の視点
①予算を上回る稼働率を目指す ②経費削減（委託料見直し等） ③適正な待機者確保
④施設整備のプランニング
2. 顧客の視点
①新型コロナウイルス感染防止対策の推進 ②ケアプランの充実 ③快適な生活環境の推進
④安全安心な介護サービスの推進
3. 内部プロセス・学習成長の視点
①人材確保・人材育成と成長の支援 ②職員の自己研鑽の推進 ③職員のメンタルヘルスケアの支援 ④ICT化の推進
4. 外部プロセスの視点
①ボランティアへの支援と拡充 ②地域連携の推進 ③福祉避難所の受入と役割
④こども支援（学習・不登校・ひきこもり）

以上が当苑の令和3年度の主な行動計画骨子です。今年度もコロナ禍の中で厳しい状況にありますが多様な課題解決に向けて、職員が一心同体となって取り組んで参る所存です。

内牧クリニックにおきましては、引き続き無料低額診療及び地域包括ケアシステムに積極的に取り組み、地域医療に専念して参ります。今後共より一層のご支援ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

内牧クリニックだより

新年度が始まって約1カ月が経ちます。新型コロナウイルス感染症が未だに収束が見えない中、皆様どうお過ごしでしょうか？新しい生活様式になり、見えない疲れが溜まってしまう事もあるかと思います。春日部市の特定健診や会社の健診などを積極的に活用して、ご自身の健康管理にお役立てください。

（トピックス）がんの死亡数の多い部位はどうなっているのでしょうか？

2019年の統計を見てみると・・・

1位 肺 2位 大腸 3位 胃 となっています。

上記のがんを早期発見（ステージⅠ）して治療した場合、5年生存率をみてみると・・・

**肺 83.3%
大腸 98.8%
胃 97.2%**

このように、がんの早期発見は、とても重要なのがわかりいただけると思います。

新型コロナワクチン情報

- ・問診表がお手元に届きましたら、内容を確認して、主治医にワクチン接種可能か確認しましょう。
- ・接種当日しやすい（肩がしやすい）服装で会場に行きましょう。
- ・会場内の移動が多いので、手荷物は少なくしましょう。

《 お知らせ 》

今年度の春日部市特定健診・健康審査は、6月1日～10月31日で実施されます。内牧クリニックでは、1日の予約人数を制限し、感染予防に努めながらの実施となります。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。尚、6月・7月中に健診を受けてくださった方限定で、胃がんリスク検査を通常の半額にて実施致します。

健診のご予約は開始しております。
お問い合わせやご予約は、受付またはお電話にて受け付けております。

☎ 048—755—2118

＜ 当クリニックは、日本医師会の感染症対策実施医療機関です。 ＞

理 念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

－ 基本方針 －

特別養護老人ホーム 彩光苑（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

- ・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・利用者のみなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑（軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護）

- ・利用者のみなさまの声を大切に、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより 第70号

ふれあい

発 行 社会福祉法人 恩賜 済生会 財団

支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051

春日部市内牧3149

発行者 所長 田嶋 襄

編 集 広報委員会

発行日 令和3年4月25日

「がんばろう！済生会」

済生会京都府病院の発案による企画「がんばろう！済生会」に、彩光苑も参加しております。
新型コロナウイルス感染症との闘いはまだまだ続きます。しかし、どこにいても私たちの心はひとつです。全国済生会の職員の皆様も一緒に頑張りましょう。



総合防災訓練研修

3月31日に総合防災訓練に関する研修を実施しました。大きな地震発生時にどのように対応すればよいかを、行動フローを確認し、問題点について話し合いました。
問題点としては「新型コロナウイルスの感染者がいる想定への対応」や「夜間帯など人員が限られた想定への対応」などがあげられ、問題解決のための意見交換が行われました。
災害発生時に備え、スムーズに対応できるよう、常日頃から防災に対する意識を持ち、防災に取り組んでいきたいと思います。



桃の節句

3月2日にケアハウスではひな祭りを開催いたしました。ひな祭りに向けて、食堂とケアハウス内をひな人形や切り絵などで飾り付けを行いました。当日は、入居者様に桜餅とうぐいす餅を作って頂きました。

食材のもち米とお米は近隣の農家の方から寄贈して頂いたものを使用しました。職員が食材を調理・準備し、入居者様にもち米とあんこをラップで包み、形をととのえ完成して頂きました。入居者様の中には初めて体験される方も多く、最初は慣れない手つきでしたが、コツをつかむとハート型など遊び心いっぱいの個性豊かな桜餅が出来上がりました。みんなで楽しく作ったこともあり、おいしそうに召し上がっていらつしやいました。桜餅を食べた後は、しりとり大会とひな祭りの歌を合唱しました。短い時間ではありましたが、楽しい時間を過ごすことが出来たと思います。



花見会

3月31日にうらかな日和のもと、彩光苑内の中庭にて花見会を行いました。
写真にあるしだれ桜は、平成8年に彩光苑が新築された際に、当時の埼玉県知事土屋義彦様が手植えされた記念樹です。あれから25年の月日が経ちましたが、今は立派に成長し綺麗な花を咲かせています。

入居者様は「天気がよくなって、しだれ桜をみるのが出来て嬉しいわ」「一緒にお団子でも食べられればなおよかったわ」など、思い思いに花見会を楽しまれている様子でした。



花見(特養なでしこグループ)

三月に入り一段と暖かさが増し、桜が咲く時期になりました。
特養なでしこグループでは、廊下の壁面に大きな樹木の壁画を創作し、季節に合わせて様々な飾り付けを行っています。今の季節に合わせて、桜の花を飾り付けしました。

入居者様とピンクのお花紙を使って桜の花飾りを作成し、樹木の壁画に飾り付けしました。写真のような満開の桜の花の壁画が完成しました。

入居者様から「きれいに作れたね」「手や指の運動になったよ」の感想があり、嬉しそうなお様子でした。

